

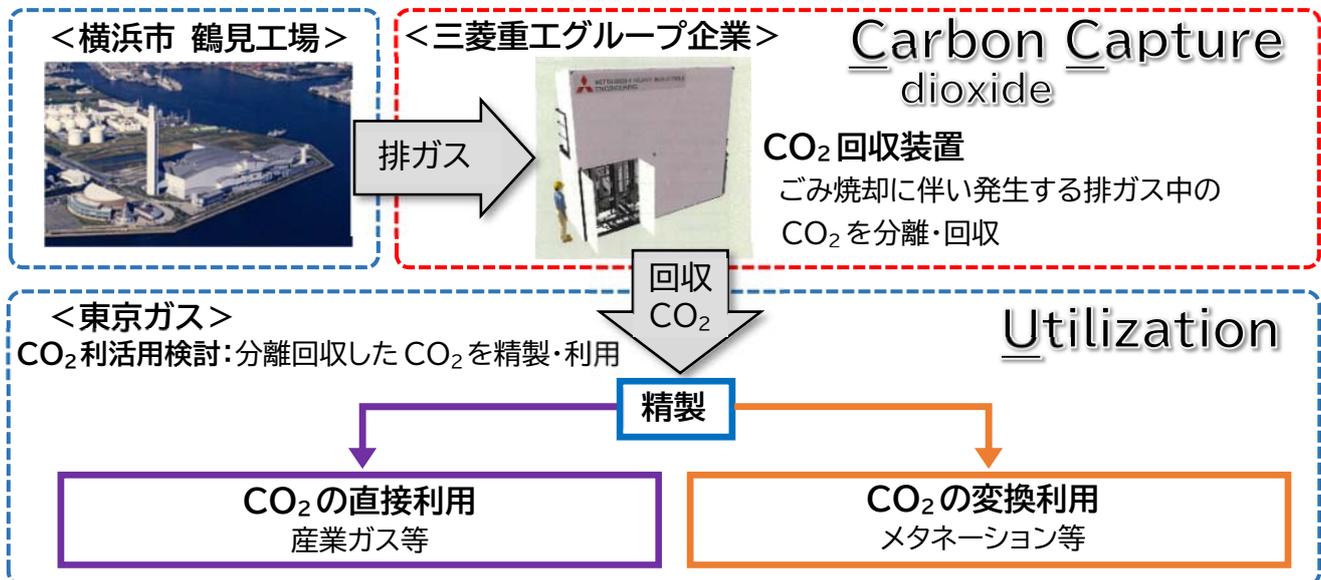
ごみ焼却工場の排ガスから二酸化炭素を分離・回収し、利活用する実証試験を三菱重工グループ企業、東京ガス株式会社と共同で開始します

横浜市は、三菱重工グループ企業※¹、東京ガス株式会社と共同で、ごみ焼却工場の排ガス中に含まれる二酸化炭素(以下「CO₂」)を分離・回収し、CO₂を資源として利活用する技術(以下「CCU※²」)の確立に向けた実証試験を開始します。

実証試験イメージ

本実証試験は、三菱重工グループ企業、東京ガス株式会社と横浜市の共同により、鶴見工場の排ガス中に含まれるCO₂を、三菱重工グループ企業が開発した装置により分離・回収し、東京ガスの知見によりメタネーションだけでなく、産業ガス等に利活用するものです。

この分離・回収したCO₂を資源として循環利用するCCUは、脱炭素化の革新的技術です。

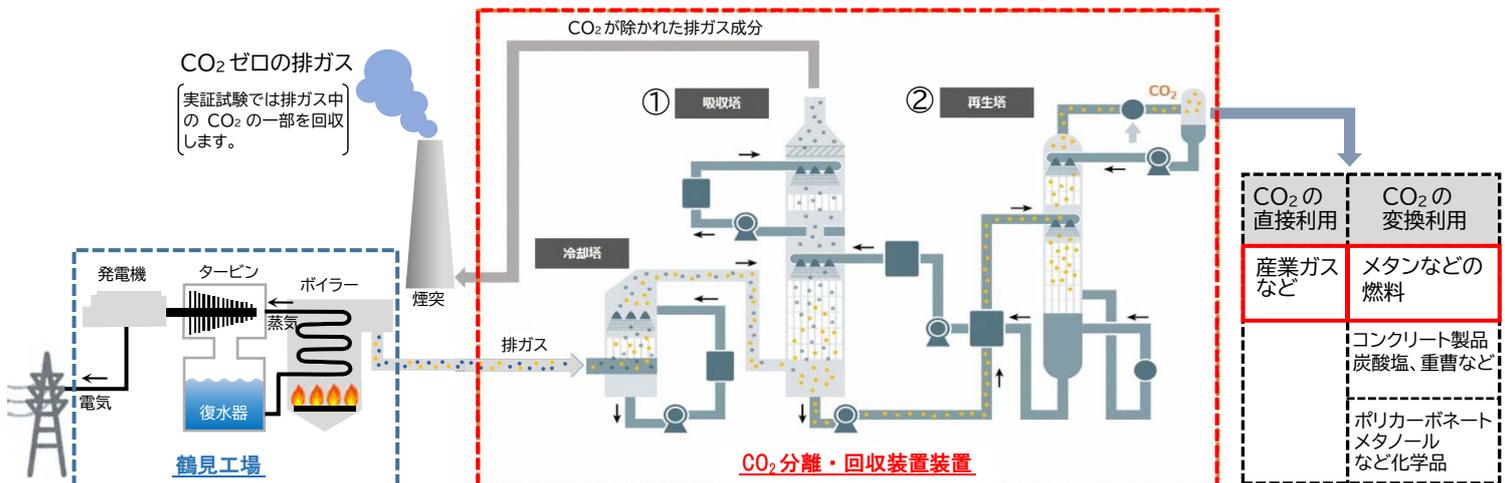


※¹ 三菱重工エンジニアリング株式会社、三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社

※² Carbon dioxide Capture and Utilization(二酸化炭素の分離・回収、利用)の略

CO₂分離・回収装置について

- ①【吸収塔】CO₂を選択的に大量溶解する性質を持つ吸収液と排ガスを接触させ、CO₂を分離。
- ②【再生塔】吸収液を110~130℃に加熱すると、CO₂が放出され、容器等に回収。



※東京ガスの検討項目

裏面あり

